

昭和六〇年（一九八五）

5・28

第18回編集専門委員会議

7・12

保谷市史編さん室を訪問

4・1 近代部門の新聞調査、大正期へ

資料編の各分野の検討 研究誌表題は代表委員と研究誌編集委員に

7・24

埋蔵文化財担当による福生不動尊裏の発掘・指導は和田委員

4・17 研究誌編集打合せ

一任

7・26

現代部門の人口動態調査再開

4・19 民俗班調査研究会（河上委員他）

研究誌表題『みずくらいど』に決まる 町田市にて新井委員と合同

7・28

北原・新井委員、石川家に多仁先生訪問

4・23 第17回編集専門委員会議

『みずくらいど』の題字は市職員に依頼

7・31

資料の拝借及びマイクロ撮影協力

北原委員から通史編・資料編等の市史構成案、新井委員から研究誌編集案の提示

『みずくらいど』の題字は市職員に依頼

7・31

資料の拝借及びマイクロ撮影協力

4・25 研究誌打合せ 編集方針決まる

『みずくらいど』の題字は市職員に依頼

7・31

資料の拝借及びマイクロ撮影協力

4・25 研究誌打合せ 編集方針決まる

『みずくらいど』の題字は市職員に依頼

7・31

資料の拝借及びマイクロ撮影協力

5・2 新聞調査で昭島市民図書館訪問

編集指導のため北原委員来室

7・28

北原・新井委員、石川家に多仁先生訪問

5・8 野島茂雄委員より森田家（鍋ヶ谷戸の名主）の資料紹介をうける

『みずくらいど』最終校正

7・26

現代部門の人口動態調査再開

5・10 研究誌の印刷、精興社に決まる

民俗班調査研究会（河上委員他）第19回編集専門委員会議

7・28

北原・新井委員、石川家に多仁先生訪問

5・16 編集作業に新井委員来室

『みずくらいど』最終校正

7・26

現代部門の人口動態調査再開

5・13 市議会選出の編さん委員が交代

近世部門が地頭田沢氏の墓石調査を担当 初巻は中世部門を中心の資料集の発刊を計画 編集専門委員会議のあり方を再検討

7・28

北原・新井委員、石川家に多仁先生訪問

5・17 民俗班調査研究会（河上委員他）

市史研究誌『みずくらいど』創刊号発刊 市制記念式典で配布

8・2

石川家に多仁先生訪問 目録カード拝借等の打合せ

5・20 資料拝借のため武蔵野市の森田豊家訪問（野島委員、郷土資料室、事務局）

市史研究誌『みずくらいど』創刊号発刊 市制記念式典で配布

8・2

石川家に多仁先生訪問 目録カード拝借等の打合せ

5・23 青梅法人会の高橋氏より写真説明の資料協力

近世部門の市内調査打合せ

8・7

市内資料発掘（高橋家他）

5・25 研究誌組見本あがる

中世担当市内調査（久保田委員、小松・遠藤・立川調査員）

8・13

調査指導に川鍋委員来室



- 8・14 商店街調査再開
- 8・15 田沢氏調査で高崎勇作氏と打合せ、平塚市史編纂室に協力依頼
- 8・27 『みずくらいど』打合せ(和田委員) 調査指導のため川鍋委員来室
- 8・30 民俗班調査研究会・研究誌2号打合せ(河上委員他)
- 9・3 第20回編集専門委員会議 研究の情報交換 予算について 『みずくらいど』2号編集案提示
- 9・4 永昌院調査(久保田委員、小松・遠藤・立川調査員) 中世部門活動方針の検討会
- 9・10 近世部門の検討及び史料筆写分抽出のため北原委員来室
- 9・11 国分寺市史編さん室訪問(資料集などについて)
- 9・12 小川氏系図調査で秋川市訪問
- 9・14 石川家に多仁先生訪問、目録カード拝借打合せ
- 9・17 『みずくらいど』2号編集会議目次案作成(和田・河上委員)
- 9・19 熊川神社所蔵文書のマイクロ撮影
- 下調査
- 9・21 志茂一町会に所蔵文書の拝借、撮影を依頼
- 9・27 民俗班調査研究会(河上委員他)
- 9・28 清岩院・千手院調査(久保田委員、小松・遠藤・立川調査員)
- 10・1 福生院調査(久保田委員、小松・遠藤・立川調査員) 石川家の目録カード(近世分) 拝借
- 第21回編集専門委員会議
- 部門別の活動報告・原始古代―夏期発掘の調査報告のまとめと試掘地の検討 中世―市内7寺社のうち4寺調査中であるが中世史料稀少・大般若経奥書の検討・本寺調査も予定・資料集は寺社編を検討など 近世―筆写対象史料のセレクト・田沢氏の墓(平塚市) 調査を検討・石川家資料もフィルム化が必要など 近代―新聞中心で政治以外に生活記事も調査中(現在は昭和期) 現代―今の事象を図表化(人口動態調査は3年実施・
- 10・14 田沢氏調査(参加19人)
- 10・9 田沢氏調査について立川愛雄氏より調査資料の提供
- 10・5 石川家文書16点拝借
- 10・19、20 東北歴史資料館等研究視察(和田・川鍋委員、事務局)
- 10・21 20日付で退任された来住野元一委
- 10・16 長徳寺調査(久保田委員、小松・遠藤・立川調査員) これで真福寺を除く市内4寺の第1回調査終了
- 中世部門の熊川氏伝承調査打合せ(佐賀県伊万里市)
- 熊川神社・志茂一町会所蔵文書の拝借(マイクロ撮影)

員にかわり、新編さん委員に木村 和男教育委員が就任	11・25	森田家訪問 製糸関係および生活 関係資料等を受領	11・25
マイクロ撮影始まる	10・22	再点検(郷土資料室)	11・29
熊川氏伝承調査(久保田委員 他)	10・22	熊川神社所蔵文書目録の 12・4	12・4
民俗班調査研究会(河上委員他)	10・23	研究誌打合せ(宮岡委員来室)	12・6
市史編纂担当者会議(国分寺市)	10・31	第23回編集専門委員会議	12・10
拝借中の古文書類を寄贈依頼のた め森田家訪問。他に製糸関係、ガ ラス写真など受領	11・7	資料集の体裁について 資料集や 本編の発刊に向けてタイムテー ルの検討作成 講演会等の実施を 計画	12・12
第22回編集専門委員会議	11・12	田村編さん会長訪問(事業計画の 報告)	12・12
資料集の体裁はA5版・18行25 字・9ポ・三五〇頁の方針 第1 巻は中世と近世を担当 講演会な どで市民とのつながりの必要性を 確認	11・12	民俗班調査研究会(河上委員他) 川鍋委員来室(人口動態調査及び 研究誌3号打合せ) 河上委員来 室(研究誌2号編集作業)	12・12
研究誌原稿メ切	11・15	新井委員来室(森田家資料整理)	12・25
61年度予算・近世史料筆写など打 合せ(北原委員来室)	11・18	北原委員来室(編さんタイムテー ブル案の作成、検討)	12・25
史料筆写員作業開始 熊川神社所 蔵文書マイクロ撮影終了	11・20		
民俗班調査研究会(河上委員他)	11・22		
研究誌編集打合せ	11・22		

編集後記



市史の編さん事業もおかげさまでだいぶ軌道にのり、ここに「みずくらいど」二号を市民の皆さんにおくります。

今号は、「石川酒造文書」の編さんに活躍されています多仁先生より玉稿を寄せていただいたばかりでなく、市内の小・中学校の先生方からも、市史へよせる期待とご要望を寄せていただきました。

この市史編さんのねらいからいっても、市民や市内の児童・生徒にとって本当に身近かで役立つ市史にしなければと、身のひきしまる思いがします。そのためには、この市史研究誌である「みずくらいど」を大いに活用し、研究成果の一端を載せるだけでなく、市民の皆さんからのご意見・ご要望を載せて行きたいと思えます。そこで、どんなテーマでもかまいませんので、どしどし玉稿を市史編さん室にお寄せ下さい。これからも、広くひらかれた研究誌にしていきたいと思えますので、お知りあいの方にも寄稿をおすすめ下さい。

◇編集担当は、和田哲・河上一雄。

みずくらいど 2号 (福生市史研究)

昭和61年(1986)3月1日 発行

編集 福生市史編さん委員会

発行 ^{ふつ}福 ^き生 市

〒197 東京都福生市本町5番地

電話 0425(51)1511

印刷 株式会社 精興社

〒198 東京都青梅市根ヶ布1-385番地
